

巻頭言「柳城学院新時代～人びとと共に生き人びとに仕える～」

名古屋柳城短期大学

学長 長 縄 年 延

2018年10月、柳城学院では創立120周年を機に文部科学省に四年制大学「名古屋柳城女子大学」の設置認可を申請していました。厳しい審査の上2019年9月6日付で正式に認可されました。2020年度からは、「名古屋柳城女子大学（新設、定員70名）」と「名古屋柳城短期大学（既設、定員130名）」の二つの保育者養成大学、三つの附属幼稚園を持つ柳城学院として新しい時代を迎えることとなります。

現代の日本社会では、国際化と情報化が進み、人々の価値観や生活環境が多様化し、子どもの育つ環境が大きく変化しています。女性の社会参加が進み共働きの世帯が増加、海外からの働き手が増加し外国人の子どもも増加しています。障害のある子どもへの支援、外国人の子どもへの支援、児童虐待防止の養護体制の充実など、幼児教育・保育のニーズは増大し多様化高度化しています。保育者にはますます広範で高度な資質が求められています。

1898年マーガレット・ヤング先生によって名古屋白壁の地に保母養成所が創設され、翌年柳城幼稚園が開設されました。これが柳城学院の始まりであり原点であります。それから120年余、柳城学院は草創期、戦前、戦中、戦後と想像を絶する多くの困難を乗り越えてきました。

名古屋柳城短期大学は、1953年柳城女子短期大学として開学、その後保育科の定員は40名から100名、そして150名から200名と増員されてきました。1997年には専攻科保育専攻、1998年には専攻科介護福祉専攻が設置されました。卒業生の数は合計9141名（卒業年次1905～2019年）にのぼり、幼稚園や保育園、こども園、福祉施設などで幼稚園教諭や保育士、介護福祉士などとして活躍しており、地域社会から高い評価を得ています。本学の建学の精神「愛をもって仕えよ（By Love Serve）」というキリスト教の精神が卒業生の間で息づいており主なる神の愛の働きに感謝せずにはいられません。

私たちの前には、日本社会の急速な少子化、18歳人口の減少、保育士志望者の減少など厳しい現実があります。2020年度を初年度として、4年制大学が完成するまでは、財政的にも要員体制上も厳しい時代が続きます。

私たち柳城学院には幼児教育・保育の知識と技能の専門性をさらに深め、一般教養を身に着けた豊かな人間性を備えた保育士を養成するという社会的使命が求められています。保育に関するより質の高い教育と研究は今私たちに課せられた両輪の課題です。

創立 122 周年・柳城学院の新時代を迎えるにあたりにあたり、もう一度初心に帰り「愛をもって仕えよ」という建学の精神に立って、人びとと共に生き人びとに仕える柳城学院の新しい歴史を切り開いていきたいと思えます。